

事例1：株式会社パームホルツ（特許技術を活用した海外事業展開の検討）

知財権活用

ライセンス(契約)

海外展開

知的財産経営実践の概要

解決
したい
課題

マレーシア合弁企業パートナーの獲得

- 特許を取得した圧密技術を活用してオイルパーム樹幹廃材から外構材及びカウンターを製造する合弁企業をマレーシアに設立したい。
- 合弁事業のビジネスを提案して、現地パートナーを獲得したい。

専門家によるハンズオン支援

- ▶ 特許権・事業内容・パートナー候補企業等についての確認
- ▶ 提案内容の検討、アジア中心に海外ビジネス展開に関する助言
- ▶ 現地合弁企業設立提案のためのストーリー提案・検討

今後の取組課題

- ✓ 事業計画、事業採算性の検討、ライセンス契約等の準備
- ✓ 英語版のプレゼン資料作成、マレーシア候補企業に対する合弁企業設立提案のプレゼン
- ✓ 製品名の検討⇒商標権の取得

ハンズ
オン
支援

マレーシア企業に
合弁企業の設立を
提案するプレゼン
資料の作成

訪問支援：3回

結果
・
成果

マレーシア企業の
経営者視点を踏ま
えたストーリー性
のあるプレゼン資
料を検討、作成

取組の詳細

- 特許技術の特徴、特許技術を活用した事業展開の取り組み、現地パートナー候補企業、先方への提案内容等の確認

JP材・MY材

オイルパーム樹幹(OPT)

JP材・MY材

- 現地パートナーとの信頼関係構築など海外での知財ビジネスの留意事項、キープロジェクトの実施や段階的な取引等、合弁事業を成功させるための必要事項について助言
- 競合するWPC等と比べた優位性、最終製品市場について助言、議論
- 競合品との差異化、高付加価値化、保守的な日本市場への対応策、実績のPR手法、委託生産の技術流出リスク、ロードマップ作成と事業段階毎の契約、製品名の検討、商標権取得による保護について助言
- パートナーへの提案書に関し、マレーシア合弁企業設立の条件を明示して、投資するかどうか回答を求める内容とするのを助言

企業の声

未利用資源「オイルパーム」の樹幹を価値ある資源として生まれ変わらせる事業に取り組んでおり、オイルパームの植林地であるマレーシアにて合弁企業を設立し特許技術をライセンスして製造したいという目標において、現地パートナー候補企業に対する合弁企業設立提案書に明確なストーリーを描くことができなかつたが、専門家の助言と議論により、特許を取得した技術・製品の優位性や付加価値を伝えるプレゼン内容・資料に整理してまとめることができた。

企業概要

業種	技術サービス（圧密技術を応用したオイルパームの製造加工・販売と事業化の普及支援）				
住所	愛知県犬山市	URL	https://www.palmholz.co.jp/		
創業	2015年	従業員数	6人	資本金	4,000万円

支援専門家（回数）

支援コーディネータ（3）
中小企業診断士
同行専門家（2）
中小企業診断士、建築士